

非常食の棚卸し状況について(結果報告)

2019年7月15日

記:内藤

表記の件、下記の通り「ふれあい公園」倉庫の非常食を棚卸し、在庫数を確認しましたので報告します。

記

- 1.日 時:7月7日10時~10時45分
- 2.立会い者:山崎副会長、宮澤1区長、石崎2区長、金田役員、内藤
- 3.廃棄基準:賞味期限が2019年7月以前の物は廃棄とする
- 4.在庫数:
 - ①乾パン
 - ・賞味期限2022年5月 24缶(1ケース)×13ケース=312缶(1缶=100g)
 - ・賞味期限2023年4月 24缶(1ケース)×21ケース=504缶(1缶=100g)
 - ②ビスケット
 - ・賞味期限2033年6月 1斗缶(64個×2缶)×13ケース=1,664個
 - ③備蓄米はすべて賞味期限切れ
 - ④備品類
 - ・袋式トイレ100個、三角布60枚、非常用飲料水袋200枚、レスキューシート60枚、組み立てリヤカー2台、タンカー4台、消火器(ケースカバー)2器、割り箸/スプーン各50個、救急箱1個、救急ボックス1台、大鍋1台
- 5.課題:
 - ①倉庫に保管してある賞味期限切れの乾パンと備蓄米の廃棄処分方法
総在庫数(乾パン+備蓄米)の約7割が廃棄対象となる。
 - ②非常食の備蓄必要数と発注計画数
- 6.対応:
 - ①賞味期限切れの乾パンと備蓄米は発注業者に引き取ってもらう。
 - ②7月15日松尾防災担当役員に倉庫内の災害備蓄状況を確認してもらい、今後の備蓄計画案の作成を依頼した。

以上